



平成25年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【大野北地区】

平成26年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 スポーツ推進委員大野北地区協議会	大野北地区の生涯スポーツを通じてのコミュニケーションづくりと健康づくり増進事業	従来から、市民に対し、年間3回スポーツ推進委員が講師となって、主にビーチボール講習を行ってきたが、年々参加者が減少してきており、スポーツによる健康づくりが難しくなっている。前回ハイキングの参加者の半数が65歳以上を占めており、いかに高齢者の健康意識が高いかが分かった。今年もバスによる強みを生かし、参加し易いようハイキングを設定した。	山へ登ると同じ目的を持った者同志で達成感を味わってもらい、それが連帯感につながり、自らスポーツすることへの関心が、高まるキッカケになって欲しいと思う。健康作りの一つとして参加者が、自らハイキングを計画し、実行できる環境も指導し、更には、新たにハイキングクラブ等の発足・加入につながって欲しいと期待したい。ハイキングを年間行事として定着させ、地域コミュニティの構築として、少しでも貢献したいと考える。	・開催日 11月10日(日) ・場所 精進湖パノラマ台(1,328m) ・コース 歩行2.5時間 総行程 7.0時間 淵野辺 中央道高尾IC 大月IC 河口湖IC 精進湖パノラマ台下(下車、登山開始) パノラマ台 鳥帽子岳 本栖隧道(下山バス乗車) 鳴沢道の駅 河口湖IC 大月IC 高尾IC 淵野辺 ・引率 スポーツ推進委員 ・人員 30名(館報等にて募集します) ・雨天時 ハイキングは中止します。但し、富士五湖近辺の施設へ行き、休息・懇親を行う。	8月5日	104,500	85,000	85,000
2 大野北地区コミュニティバス利用促進協議会	大野北地区コミュニティバス利用促進事業	平成26年2月の実証運行開始から本格運行に移行するためには、1便あたりの利用人員が10人以上であること等の条件があり、その条件をクリアするため、地域住民が率先して、利用促進のPRを行ない、気運を高めていく必要がある。	コミュニティバスの利用促進策を地域住民で考えるため、5月に利用促進協議会を発足し、交通不便地区における高齢者等の移動制約者の生活交通を確保するとともにコミュニティバスを継続運行させ、地域の活性化を図ることを目的とする。	地区内のイベント等の際に、導入予定のコミュニティバスと同じ型のバスを利用して乗り方教室等のPR活動を行う。また、自治会未加入者にも利用促進のPRをするため時刻表等を掲載したチラシのポスティング等を行なう。	11月19日	833,000	753,000	753,000
3 大野北地区交通安全母の会	大野北地区交通安全教育啓発事業	相模原市内の交通事故件数は減少傾向にあるが、自転車に関する交通事故件数は、全交通事故件数の約3分の1を占めており、県内平均よりも高い状態が続いている。大野北地区でも昨年82件発生しており、自転車事故を含め、交通事故を減らすための活動に取り組む必要がある。	地域の住民が啓発活動を通じて、交通安全意識の高揚を図ることを目的とする。	交通安全の啓発事業のひとつとして、幼児には紙芝居、中学生には自転車に関する交通事故を再現し、「ヒヤリ・ハット」する場面の体験を通じたスケアード・ストレイト事業、高齢者には落語を通じて交通安全意識の高揚を図る。	11月19日	390,000	390,000	390,000

	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4	宇宙福豆で福よこい！実行委員会	宇宙福豆で 福よこい！	<p>大野北地区はJAXA相模原キャンパスへの最寄り駅である。</p> <p>近年、中高層マンションなどが数多く建設され、人口約5万8千人が住む賑わいのあるまちであるが、JAXAと連携した地域の活性化ができていない。</p> <p>この豆まきを通して、地域の輪を広げていければ人と人のつながりや広がり、理解が深まるのではないかと感じ、このイベントを企画した。</p>	<p>子供たちに宇宙に対する関心と、豆まきという日本の伝統的な行事の意味を知ってもらい、地域でのつながりを大事にし、楽しんでもらうことを目的とする。</p>	<p>ロケット形状のビニール袋の中に宇宙に行った津久井在来大豆と同種の豆をロケットに装着して飛ばし、邪気を追い払い一年の無病息災を願う。</p> <p>また、それに先立ちJAXAの先生の講話と音楽会、お餅をみんなで食べたりして、楽しい時間を作り上げていく。</p>	1月20日	220,000	220,000	220,000
5	大野北地区自治会連合会	大野北地区自治会加入促進事業	<p>自治会は地域住民の親睦や生活環境の維持、高齢者や子どもの安全対策に取り組み地域の諸団体や行政と連携して地域課題の解決を図り、安全で安心して暮らせる地域づくりをめざしている。</p> <p>しかしながら、核家族化やライフスタイルの変化により、地域活動に無関心の人が多くなってきたことなどにより、自治会への加入の必要性を理解してもらえず、自治会の加入率が低下しているため、加入促進と退会防止に努める。</p>	<p>自治会加入率低下に歯止めをかけ、安全で安心して暮らせる地域づくりをめざし、加入促進と退会防止に努める。</p>	<p>自治会情報マップ ・全戸配布 約30,000世帯(空き家等のポストイン約1割含む) ・未加入世帯配布用及びキャンペーン 2,000部 ・キャンペーン用加入促進チラシ 3,000部</p>	1月31日	1,441,000	1,441,000	1,441,000
							2,988,500	2,889,000	2,889,000